

平成 27 年 8 月 3 日

各位

株式会社北陸銀行

「第 6 回アドバイザー・ミーティング」の開催について

株式会社北陸銀行（頭取 庵栄伸）は、平成 27 年 7 月 29 日（水）に「第 6 回アドバイザー・ミーティング」を開催いたしました。概要につきましては、下記のとおりです。

今回のミーティングでは、平成 26 年度決算、および中期経営計画の進捗等について説明し、その後に各委員の方々から忌憚のないご意見を頂戴いたしました。

記

1. 日 時 平成 27 年 7 月 29 日（水） 10：00～12：00

2. 場 所 北陸銀行本店

3. 出席者

＜アドバイザー・ミーティング メンバー＞

浅生 幸子	女性史研究家、社会福祉法人すこやかこども福祉会理事長
稲垣 晴彦	北陸コカ・コーラボトリング株式会社代表取締役社長
尾畑 納子	富山国際大学教授、富山県消費者協会会長
本田 百合子	公認会計士・税理士・行政書士
向 智里	金沢大学理事・副学長
八木 誠一郎	福井経済同友会代表幹事、フクビ化学工業株式会社代表取締役社長 (五十音順、敬称略)

＜当行出席者＞

麦野 英順	取締役会長
庵 栄伸	取締役頭取
中野 隆	取締役専務執行役員
森田 勉	取締役常務執行役員
浅林 孝志	常務執行役員
菊島 聡史	常任監査役
中沢 宏	総合企画部長

＜事務局＞

北陸銀行総合企画部 [司会進行]

4. 庵頭取挨拶要旨

アドバイザー・ミーティングは、外部の方の知恵をお借りして、業務の健全性、多様性、お客さま目線の経営をどう強化していくかを目的として開催しており、今回で第6回目となります

平成 26 年度は中期経営計画の中間年度ということで業務の安定性や事務の品質向上に力点をおき、人材育成などにも取り組んでまいりました。

少しでもお客さまに当行を気持ちよく利用していただき、その成果として当行の収益に繋がるような活動を行っていきたくと考えております。委員の皆さまからのご助言を活かしてまいりたいと考えておりますので、本ミーティングでは、忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。

5. 当行からの説明要旨

中沢総合企画部長より、以下の内容について説明をいたしました。

- ・平成 26 年度決算概要について
- ・中期経営計画（平成 25 年度～平成 27 年度）の進捗状況について

6. 委員からのご提言等について

(1) 地方創生への取り組みとして立ち上げている「地域創生プロジェクトチーム」の活動はどのようなものか。

【当行からの回答】

- ・地方創生は営業店や本部各部署など関連が多岐に亘るため、銀行全体で横断的な推進体制を整備し、地方創生に関する情報提供や発信が行えるチームとして組成しております。
- ・各自治体さまの地方版総合戦略策定にあたり、地域金融機関に期待されている役割は計数管理のノウハウ提供や、スケジュール管理など P D C A がスムーズに進むお手伝いなどではありますが、地方創生は日頃より銀行が手がけている本来業務そのものとも関連性が高いと考えております。現在は各自治体さまとの連携に加えまして、担当部であります地域創生部が地域の皆様へのコンサルティング業務や各種商談会などを通じ、地域産業の発展や情報提供の仕組み作りに取り組んでおります。

(2) 女性の登用や活躍推進に向けてどのような取り組みを実施しているか。

【当行からの回答】

- ・平成 26 年度は支店長・所長クラスに女性を 3 名登用しており、積極的な管理職登用、海外研修への派遣を実施しております。
- ・また、将来を担う層である 20～30 代の女性が働きやすい職場環境を作ることが重要であると認識しており、結婚・出産後に職場への復帰が可能な制度や環境の整備を実施しております。
- ・女性の活躍においては夫や家族の理解も必要なことから、当行の男性行員についても育児休暇取得を推奨するなど積極的に取り組んでおります。

(3) 金融教育の取り組みについてどのような取り組みをしているか。

【当行からの回答】

- ・子供の頃からの金融教育は大切なこととお考えの学校関係者の皆さまも多く、各地域の支店長が中心となり、金融教育に関する講義などを積極的に実施しております。
- ・また最近では、お取引先の若い社員の皆さまを対象にライフプラン設計に関するアドバイス講義なども行っております。
- ・若い世代への金融教育という観点から金融機関としてどのようなお手伝いができるのか、十分検討しつつ今後も取り組みを継続してまいります。

(4) 平成 27 年 3 月期決算について、事業性貸出の伸長をどのように捉えているか。

【当行からの回答】

- ・事業性貸出の残高は地域のマクロ経済と銀行のリスクを取るスタンスによって大きく影響すると考えております。
- ・当行では地域の皆さまにとって必要なご資金をいかにタイムリーに提供できるかが最も重要なことと考え取り組んでおります。平成 26 年度は北陸地区を中心に設備投資や、大口のM&Aなどの案件があったことから増加しておりますが、今後も地域の皆さまにご資金を積極的にご利用していただくための努力を続けることにより、伸張ペースをより安定的なものにしていきたいと考えております。

(5) 地域の人口減が予想されるなか、今後労働生産性向上のためにはM&Aの促進もひとつの方策であるが、取り組みはどうか。

【当行からの回答】

- ・現状の実績以上にニーズはあると考えており、取り組みのためには「常にアンテナを張ることで高い感度を持ち、お客さまから相談される支店長」を育成していくことが重要だと考えております。
- ・また、M&Aだけでなく、事業承継や再生支援などへ関与していくことも重要な役割であると認識しており、6月に組織としてのソリューション能力をさらに高める目的で、本部のコンサルティング部門の人員増強を図っております。地域の将来的な発展に向けて主体的に活動していくことが金融機関の地域貢献と考えており、今後も積極的な取り組みを行ってまいります。

(6) 店舗戦略の取り組みはどうなっているか。また、窓口の営業時間を拡大するなど営業形態の多様化についてどのように考えているか。

【当行からの回答】

- ・お客さまにとって店舗は利便性の高いものであり、可能な限り維持することが使命であると考えております。一方でお客さまにより良いサービスを提供できるようにするためには、人員を大型店に集約し、ノウハウの共有や効率化を図っていく必要があります。その考えの下、いくつかの営業店においては、エリア制を導入し、人員の集約化を行っております。

- ・現在、窓口の営業時間拡大を行っている店舗はございませんが、すでに取り組みをスタートさせている銀行もあり、方向性は今後検討してまいります。

(7) 特殊詐欺に対して銀行はどのような対策を講じているか。

【当行からの回答】

- ・従来よりATMコーナー、窓口での声かけを実施しております。
- ・最近の取り組みとしては、各県の警察より預金小切手を使った払い出しが推奨されており、当行も手数料不要で対応するなどし、特殊詐欺防止に努めております。なお、預金小切手により、詐欺を防いだ事例も出ており、効果が出ております。
- ・今後も丁寧な説明を通じて特殊詐欺防止に努めてまいります。

以 上

<本件に関する照会先> 総合企画部 総合企画G TEL 076-423-7111
